



# WEEKLY REPORT

## 高山中央ロータリークラブ

2022～2023 年度 高山中央 RC 会長テーマ

イマジン ⇒ アクション ～止まった時間を動かそう！～



◆会長 中田 学 ◆幹事 二木 公太郎 ◆会報委員長 西 美紀 ◆会報担当 足立 常孝

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席数	Make-up	出席率
本日 1321 回	56 名	56 名	43 名	——	76.79%
前々回 1319 回	56 名	56 名	41 名	1 名	75.00%

- 点鐘 会長 中田 学
- ロータリーソング 奉仕の理想
- 高山中央ロータリークラブ職業倫理基準
- 会長挨拶 会長 中田 学

こんにちは！ 会長の時間です。

春の高山祭、2 日目の雨が残念でしたが、初日は、私も夜祭に出かけてみましたが、すごく人出も多く、コロナで失われた時間を取り戻すような、賑わいある素晴らしい祭りでした。本当に良かったです。

今、高山市議会議員選挙が始まっています。繰り返しになりますが、様々な社会課題について、私たちが、考え、行動していくためには、行政との連携が、必要不可欠だと思っています。今回、クラブの仲間の渡辺さんと益田さんが立候補され、頑張っておられます。支援を宜しくお願ひします。

さて、全く別の話になりますが、最近、気になったニュースからなのですが、対話型 AI「チャット GPT」を開発した OpenAI という会社のサム・アルトマン CEO・37 歳が来日し、岸田総理大臣と面会したそうです。今後、日本での事業を大いに進めていきたいということだそうです。この言語生成プログラム、対話型 AI「チャット GPT」、現状でもかなりのものですが、これから、更にバージョンアップし、精度や能力がどんどん上がっていくと、近い将来、無くなるだろう職業というのが、話題になっています。

順番に紹介していくと、

- \* 翻訳者・通訳者
- \* 文章の校正者・編集者
- \* 記事などのライター（いわゆる物書きの人）
- \* データ入力担当者
- \* コールセンターのオペレーター、カスタマーサービス・お客様相談室の担当者（今も、HP 上で、チャットで質問に答えるのがあります）
- \* 秘書、マネージャー

\* 旅行代理店

\* 企業や大学の研究室で論文やデータ収集するスタッフ だそうです。

先日、どこかの国会議員が、「Chat GPT を使ったら、20 秒ほどで、あっという間に質問が生成された。AI が生成した質問に総理大臣が答弁するのは、日本の憲政史上初めてになる。」と得意げに、発言したことが話題になりました。

これって、今、議員の定数削減ということが叫ばれる中、議員としての自分の存在価値を否定することなのに、大丈夫？とってしまいました。

西村経産大臣や河野デジタル担当大臣は、国家公務員の負担軽減という視点では、今後、利用を推進していきたいと発言しています。

近い将来、AI が作った質問に、AI が答弁するということになるのでしょうか？

将来、人間がする仕事は、ざっくりとですが、改善、創造、交渉の 3 つのことしか、なくなるといわれているそうです。

AI システムを導入して、「楽になった、これを存分に利用して、私は、私にしかできない仕事をして、全体をスケールアップさせていこう」、そういうふうに考えて行動していくことが、求められていくようです。逆に、「楽になった、私の仕事が減って良かった」と思っていると、あっという間に、AI に仕事を奪われてしまい、気がつけばリストラ、なんてことになりそうです。

いずれにしても、この AI のシステム、これから、私たちの生活に大きな影響を与えていくのは間違いないと思います。今後も十分に注目していかなければならないと思います。最近の気になるニュースからでした。

本日の例会は、土曜日に多治見で行われた地区協会の報告となっていますので、よろしくお願ひします。

最後になりますが、高山市内、コロナ大丈夫そうで

すが、祭りもそうでしたが、観光客が増えてきているので、気を緩めずに体調管理に努めていただくことをお願いして会長の時間とします。  
ありがとうございました。

## ●幹事報告 幹事 二木 公太郎

◎国際ロータリー第 2630 地区ガバナー事務所より  
・クラブ増強報告 3 月号  
・「トルコ・シリア大地震災害義捐金」協力のお礼  
第 2630 地区 = 3,558,973 円 総額  
88,604,966 円 トルコ第 2430 地区へ送金  
完了の報告

○ロータリー米山記念奨学会より  
・ハイライトよねやま 277

○高山西ロータリークラブより  
・例会変更のお知らせ  
4 月 28 日 (金)・5 月 5 日 (金) 休会  
5 月 19 日 (金) → 21 日 (日)  
新緑家族例会 郡上八幡へ

<会報>

・高山 RC

## ●地区研修・協議会報告 次期幹事

長瀬 栄二郎

皆様こんにちは。

先週 15 日の土曜日に多治見で開催されました地区研修・協議会に、次年度幹事として参加してまいりましたので、ご報告を申し上げます。

当クラブからは、岩本次年度会長を中心に、田中さん、清水さん、前越さん、中屋さん、水口さんと私の 7 名が参加、地区委員として西さん、高橋さんが参加され、合計 9 名にてマイクロバスで多治見へ向かいました。11 時半の受付開始で、到着してすぐにお弁当をいただきましたが、会場が狭いということで、施設の外に用意されたテントでの昼食となりました。雨の空模様でした少々肌寒いものでした。

会議は大きく 4 つのセッションで構成され、まず 13 時からの開会セッションでは、点鐘からホストクラブ会長のご挨拶、ガバナーエレクトである篠原さんのご挨拶、高橋ガバナーによる R I の現況報告などがございました。

その後、第 1 セッションでは会長エレクトのみ別会議へ参加し、他のメンバーは「次期 R I テーマと地区活動方針」として篠原ガバナーエレクトから 30 分ほどのお話を聞きました。

ここでは、次期 R I 会長・イギリスのゴードン R.

マッキナリーさんの次年度テーマである「世界に希望を生み出そう」について、1 月にフロリダ・オーランドで開催された国際協議会での様子についてのお話や、R I 会長のスピーチ動画を拝見しました。次年度テーマの趣旨としては、会員には「ほかの人を助ける」ことで世界に希望を生み出してほしいということ。そして、そうした取り組み自体が、我々の友情を深め、連帯意識を育み、自身の幸せにもつながるのだというお話でした。続く第 2 セッションは 100 分ほどの分科会となり、私は次年度幹事として戦略計画・研修情報・職業奉仕の合同分科会に参加しました。

戦略計画については、直前ガバナーの浦田さんより講話があり、大切なことは何よりも色々とトライをして、眠たくなならない楽しい例会を企画すること、すべては会長にかかっている！という激励のお話でした。

また、研修情報については、地区研修委員長の岩田さんより講話があり、ロータリーの素晴らしさと存在意義がどこにあるのかを会員全員が認知し、共有することが大切であること、親睦＝フェロシップとは同じ方向を向くということであること、会員自身の職業に関する短時間スピーチを積極的に盛り込むことで、各会員の職業を通じた素晴らしい事実を知る機会が得られることなどをお聞きしました。

続く職業奉仕については、田中さんが担当委員長としてご参加でしたので、私からのご報告は割愛させていただきます。

分科会は以上で終了し、閉会セッションとして次期開催地ホストクラブである名張 RC の会長より挨拶などがあり、地区研修・協議会の修了証書授与などを経て閉会の点鐘となりました。

以上、一日がかりの地区研修に久しぶりに参加させていただきましたが、自分自身、長く臆気であったロータリーに関する認識を補わせていただく良い機会となりましたことをご報告させていただきます。

ありがとうございました。

## 次期米山記念奨学委員会

委員長 水口 邦博

先日 4 月 15 日に、地区研修・協議会へ行ってまいりました。

当日、会場には本当に多くの方が参加しており、こういった大きな会の開催が、ようやく通常に戻っている事が感じられました。

予定時刻通りに開会セッションが始まり、後半、高



橋ガバナーより、RI 地区現況報告がありました。その中で、会員減少への危機感と、それに対する今後の方針等を熱心に語られており、この問題の重要性を再認識いたしました。

特に印象に残ったのは、ガバナー制度そのものをなくすといった、ロータリーの根幹を変異させるような案もあるとの事でした。

ただし、この辺りに関して、まだまだ議論を重ねていただく必要があると感じました。

開会セッション終了後は、第1セッションが行われ、ガバナーエレクト篠原さんより「時期 RI テーマと地区活動方針」が発表されました。

私が受けた、全体的な感想として、「多様性をより多く受け入れながら、ロータリーの性質も時代に合わせて柔軟に変化していく」そんな印象を受けました。

前半が終了し、ようやく第2セッションが開始されました。

私が次年度担当させていただく「米山記念奨学委員会」は、会場入り口に設けられた特設会場にて行われました。

冒頭、この事業についての説明がありました。

「米山記念」とありますが、そもそも米山梅吉氏が設立したのではなく、米山氏の功績を讃えた「東京 RC」が設立したことは、多くの方が勘違いされているそうです。

次に、「世話クラブ・カウンセラー制度」の説明では、奨学生をより成長できるよう、いかにしてサポートしていくかのお話があり、今年度担当された清水さんのご苦勞を、改めて認識させていただきました。

今回のセッションで1番重要視されたていたのが、「学友会」です。

この「学友会」は、奨学生が期間終了後に必ず入るとされる会で、その後の交流や新たな奨学生のサポートなどといった目的を主にされているそうです。

しかしこの 2630 地区では、「学友会」活動がほぼ行われておらず、この度改めて「学友会」を再構築し、活動を始めたそうです。

会の会長は奨学生であった、スリランカ出身の「カスン」さんが就任し、組織体系も元奨学生で構築されていました。

また、カスンさんより卓話もあり、奨学生を経験したからこそ、「学友会」の必要性を認識し、今後はより多くのロータリアンと関わり、奨学生をサポートしていきたいとの抱負を語られていました。

最後は閉会セッションが行われ、無事に終了することができました。

時期地区大会の PR では、意味深な案内もあり、11 月が非常に待ち遠しいものとなりました。

最後になりますが、次年度担当委員長として精一

杯精進してまいります。

どうぞよろしくお願い致します。

ご清聴ありがとうございました。

## 次期研修委員会 委員長 田中 雅昭

皆さんこんにちは。昨日の地区研修・協議会に出席しましたので、報告致します。第2セッションでの合同分科会に出席致しました。何よりも職業奉仕は日本が元祖であり、継続的な事業の発展を得る為には、自分の儲けを優先するのではなく、職業を通じて社会に貢献するという意図をもって事業を営むことや、経営者は利益を独占するのではなく、従業員や取引先に関係する人たちと適正に再分配することが継続的な利益を得る方法であることを学びました。

最後の質疑応答の中で、クラブ自体が会員減少する中、又予算が限られる中、何を大切にしたら良いでしょうかとの質問があり、「最も人を喜ばすことが、最も多く報いられる」また「家族を愛し、家庭を愛し、従業員を慈しむ中で、社会に奉仕する事」が何よりも大切なことではないでしょうか。との回答があり、安定した素晴らしいロータリークラブにしていかなければと、再認識すると共に会員減少を心して受け止めなければならないと思いました。又地区研修・協議会へは出席要請者だけではなく、多くの会員の皆さんに参加して頂き、研修は無論の事、それ以上に道中や帰高してからの懇親会等を含めて、高山中央ロータリークラブが魅力的なクラブに発展することが望まれると感じております。

最後になりましたが次年度の会長、幹事さんはじめ参加された会員の皆様には本当にご苦勞様でした。



<ニコニコ BOX>

4/15 多治見にて地区研修協議会に出席してまいりました。出席して頂きました皆様ありがとうございました。また、本日、次年度委員長様に次年度の事業計画提出のお願いを配布させて頂きました。恐れ入りますが期日厳守で提出をよろしくお願い致します。

岩本 正樹

結婚記念日のお祝いありがとうございました。

中田 学

3月下旬に人間ドックを受けました。検査前の血圧測定をしたら1回目130、2回目140。看護師さんに心配され「緊張しますよね」と言われました。クリニックで血圧の高い患者さんに、強く言ったり怒るDrもいますが良くない事だなと思いました。患者さんの気持ちが分かった気がしました。

葛谷 嘉久

今年は祭りの警護に当たっていて、袴を着る予定でしたが15日は雨となり礼服で獅子舞のお供となりました。ちょっと気楽になったのでニコニコへ。孫と一緒に祭りを見に行くことも出来ました。

高木 純

本日早退させて頂きます。よろしくお願い致します。

高橋 厚生